



FOET コース 参加案内書

この度は、日本サバイバルトレーニングセンター(以下 NSTC)にお申込みいただきありがとうございます。この「参加案内書」を事前によくお読みになり、訓練にご参加ください。

◆ 注意事項

申込における注意事項

訓練には、身体的な負担、ストレスが発生する要素が含まれています。

医学的に健康であることを証明するため、以下の書類を事前にご提出ください。

- ・健康状態確認書（医者診断、及びサイン必須）
- ・訓練参加のための健康状態申告書
- ・訓練に関する同意書
- ・個人情報の取扱いに関する同意書

HPよりダウンロード後、必要事項をご記入のうえ、**訓練の2週間前まで**にご郵送ください。

郵送が間に合わない場合は、事前にメールもしくは FAX にてご送付のうえ、当日原本をご持参ください。

当日は健康な状態でご参加ください。またドラッグやアルコールは禁止しております。

受講申込の際に、現在お持ちの修了証をメールにてご送付ください。

服装、携行品

- ・**訓練に適した動きやすい服装**でお越しください。

訓練に適さない服装例：ショートパンツ、スカート、ノースリーブ、サンダル、ビーチサンダル等

- ・安全のため、訓練中は**アクセサリ**を外してください。
- ・安全及び、紛失や感染症予防のため、**プール**での訓練中は、**コンタクトレンズを外して頂きます**。
(コンタクトレンズを外した状態だと、説明などが見えづらいこともありますので、眼鏡をご持参ください)

ご持参いただく物

- ・**写真付公的身分証明書**(運転免許証、パスポート、船員手帳のいずれか) ※外国籍の方はパスポート
- ・筆記用具
- ・**水着**、ビニール袋(濡れた水着のため)、眼鏡及びコンタクトレンズケア用品(洗浄液、ケース等)
- ・**原本を郵送していない場合**:健康状態確認書、訓練参加のための健康状態申告書、訓練に関する同意書、個人情報の取扱いに関する同意書

NSTC で用意しているもの

- ・保護具(ヘルメット等)、バスタオル、つなぎ、長靴
 - ・昼食 (お弁当をご準備致します。)
 - ・ドリンク (ウォーターサーバーがございます。):お水、コーヒー、等
- ※喫煙は 5 階、喫煙所をご利用ください。

◆受付

- ・時間割に記載の受付時間までに NSTC 受付(日水ビル 4 階)にお越しください。
- 受付は 10 分前より行っています。遅れる場合は、[093-884-2020](tel:093-884-2020) へ必ずご連絡ください。
- ※会場は開始 30 分前より開放いたします。

◆アクセス情報

〒804-0076 北九州市戸畑区銀座二丁目 6 番 27 号 **日本水産ビル 4F** 戸畑駅北口より徒歩約 10 分
TEL:093-884-2020(平日 8:30~17:30) Mail: book@n-s-t-c.com
緊急時連絡先 093-884-2024 (24時間・365日)



航空機利用の場合

【福岡空港より】

福岡空港 → 博多駅 (地下鉄) 約10分
博多駅 → 戸畑駅 (JR特急) 約40分
(JR快速) 約60分

【北九州空港より】

北九州空港 → 朽網駅 (バス) 約20分
朽網駅 → 西小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約25分
または
北九州空港 → 小倉駅 (バス) 約35分
小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約10分

新幹線利用の場合

JR小倉駅にて新幹線下車
小倉駅 → 戸畑駅 (JR普通) 約10分

お車でお越しの場合

戸畑ICから車で約5~10分

◆ニスイマリン会館 宿泊者様

- ・予約変更、キャンセルは訓練の2週間前までに **NSTC までご連絡ください。**

◆OPITO 認証コースについて

NSTC の訓練コースは OPITO により設定された基準に沿って実施されます。訓練中に受講者は OPITO によって設定されたすべての学習成果を満たしていることを、資格のあるインストラクターによって評価されます。受講者は、直接観察および必要に応じて口頭及び/又は書面による質疑応答によって下記学習成果に対して評価されます。何らかの理由で、学習成果の一つ以上を満たしていない場合、受講者は証明書が発行されるように、未修了の内容を繰り返す必要があります。

訓練に関するより良い理解を得るため、Youtube に掲載している [OPITO BOSIET ブリーフィングビデオ](#)をご参照ください。

FOET モジュール 5; ヘリコプターの安全と脱出

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません：

- (1) 航空用スーツ、航空用救命胴衣、EBS の着用と EBS の状態確認
- (2) 大気圧環境（陸上）での EBS の準備と呼吸
- (3) プールでの訓練における EBS の操作および使用（HUET エクササイズに先立ち、プール内で水中で発生する陰圧と陽圧を体験する）
- (4) ヘリコプターの緊急不時着水および緊急着陸に対する準備行動
- (5) コントロールされた洋上への不時着水時の行動（EBS の展開、クルーからの指示、プッシュアウトウインドウの開放を含む）と指定された出口から航空用救命いかだへの乗艇
- (6) 仲間へのアシストおよび航空用救命いかだ乗艇後の行動（もやい綱の切断、シーアンカーの投下、キャノピーの組み立て、いかだのメンテナンスを含む）
- (7) 機体の一部が浸水した状態で窓からの脱出（EBS の展開および使用有り、プッシュアウトウインドウの開放無し）
- (8) 機体の一部が浸水した状態で窓からの脱出（EBS の展開および使用有り、水中でプッシュアウトウインドウの開放）
- (9) 機体が水中で転覆した状態で窓からの脱出（転覆前に水面での EBS の展開有り、水中でプッシュアウトウインドウの開放有り）
- (10) 救命胴衣の膨張と、水面でのスプレーフードの着用、水中での行動（泳ぎ方、HELP 姿勢、トーイング、チェイン、ハドル、サークルを含む）
- (11) 水中から航空用救命いかだへの乗艇
- (12) 洋上において、救助される際の行動および救助された後の行動

FOET モジュール 6; 消火とセルフレスキューの学習成果

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません：

- (1) 適切な持ち運び式消火器の使用
- (2) 煙で視界が見えづらい場所からのスモークフードを使用してのセルフレスキューテクニック
- (3) 視界が完全に閉ざされた場所からのスモークフードを使用したセルフレスキューテクニック
- (4) 視界が完全に閉ざされた場所からスモークフードを使用した小グループでの避難テクニック

FOET モジュール 7; 応急処置の学習成果

受講者は、このモジュールを修了するためには、以下の内容を実証しなければなりません：

- (1) 周囲への呼びかけ
- (2) ABC を含む早急なファーストエイドの行動

◆FOET コースの修了証サンプル

